

丹波市議会だより

たんぱりんぐ

令和2年

10

No.63

TAMBA CITY

6月 9月

3月 12月

定例会は年4回



たんぱりんぐ



もくじ

決算を厳しくチェック!!...

2~5

ココがギロンの論点!... 6~7

議案の審議結果... 8

委員会からの調査報告... 9~10

ココが聞きたい!一般質問... 11~17

お知らせ... 18



定例会の様子(録画映像)は市議会ホームページからみることができます。[検索ワード] 丹波市議会インターネット中継



Open!

議会が厳しく

チェック！



9月定例会の主役は、「決算」。議会に与えられた検査権を使い、事務検査を行いました。

9月定例会では、予算決算常任委員会で、令和元年度の決算審査を行いました。この「決算審査」は、前年度の予算が目的にそって適切に使われているかどうかを審査し、改善や要望を市に伝え、今後の予算や事務執行につなげる重要な役割を担っています。委員会に地方自治法第98条1項（19ページ「教えて議会ワード」に記載あり）の事務検査権が付託され、一部事務書類の原本を閲覧し、審査しました。

令和元年度決算が認定されるまで

9/30	予算決算常任委員会で決算審査	9/11	9/1	7月	5月	4月	3/31
9/30	④ 総括（委員会採決） 審査報告書の作成 本会議採決（決算を認定）	9/11	③ 課題の整理（委員間討議） ② 民生産建所管分の審査 ① 総務文教所管分の審査 本会議で質疑、その後委員会へ付託	9/1	7月	5月	3/31
				市が決算書や資料を作成 監査委員による決算監査 9月定例会が開会	出納閉鎖期間：光熱費など翌月請求分の支払のための整理期間。 出納閉鎖期間	出納閉鎖期間	令和元年度事業が終了

一般会計歳出総額 356 億 5,877 万円のまちづくり

委員会で出た主な質疑と審査意見

1

職員の働き方改革は…

職員定数が削減されていく中、業務量と事業数の肥大化によって時間外勤務が増えている。業務の効率化と管理システムの導入によりどこまで効率化が図られていくのか。



問

勤怠管理システムの導入や職員の時間内業務の意識化で、慢性的な時間外勤務は解消されるのか？

答

業務に優先順位をつけたり業務の情報化に努めています。また、心の疲弊を起こさないよう体調管理は勿論のこと月 80 時間を超える職員には産業医による面接を行い、相談員の配置も行っており、対策をとっております。

問

業務量と職員定数のバランスを図る一方で、予算規模とのバランスを考える必要があるのではないか？

答

これまでの計画策定時にあった時代背景とは若干変わってきており、指摘されるバランスを考えるうえで市民サービスを縮小しないよう十分考慮したうえで、今年度策定の計画に反映していきます。

【審査意見】

働き方改革を推進する中で、月 100 時間を超える時間外勤務をしている職員が一定数ある。特に全体を管理すべき企画総務部職員課が慢性的な時間外勤務をしている状況であり、市における働き方改革を成功させるためにも、職場の実態把握と将来の財政規模を見据えた事務事業の精査を行い、適正な職員数及び配置での行政運営ができるよう第4次丹波市定員適正化計画を策定する中で、体制整備を進められたい。

2

適正な事務手続きを！！

保育所運営費負担金の申請事務で、概算請求の際、保護者負担金を半年分無償化で算出すべきところ、1 年分無償化として概算請求されていた。国や県に対し、億単位の返還が必要となった。



問

このようなミスはなぜ防ぐことができなかったのか？また、発覚後議会への報告がなかったが？

答

保育所運営費の負担金は、翌年度に精算する方式であり、過払いがあれば返還し、不足金があれば追給する仕組みですが、誤って 1 年間無償化として過大に請求しておりました。今後は、概算請求の際にも正確に試算するよう努め、事務ミスが発覚した際は、適切な時期に議会にも報告を行います。

【審査意見】

保育所運営費負担金について、報告の誤りにより、令和 2 年度に国県に対して億単位の返還が必要となることが判明した。予算上の影響もさることながら、市の法令遵守の姿勢に対する不信感につながることから、正確な事務執行の徹底と議会への適時適切な報告を求める。

3

補助金申請のルールが厳格になった結果は？

補助金不正受給問題を受けて、令和元年 4 月から補助事業の事務処理方針（共通編）にそってルールが厳格化された。その結果、申請事務手続きが煩雑になるなど、市民活動に大きな影響を与えた。



問

ルールが厳しすぎるとの市民の声は届いているか？補助の目的や事業の内容などによって、事務処理方針を見直すことはできないか？

答

10 月から各部署へヒアリングを行い事業内容や目的を精査しながら、年度内に事務処理方針を見直します。

【審査意見】

補助金の交付に関するルールが厳格化されたことにより、老人クラブの減少をはじめとする各種補助制度の申請件数の減少など、市民や事業者の自主的な活動促進に停滞や萎縮を招いている傾向がある。一律にルールを適用するのではなく、補助金の透明性を確保しつつ、それぞれの補助制度の目的や性格に適応した手続きとなるよう規則及び運用の見直しを図られたい。

28日に開催した予算決算常任委員会において、車検切れの公用車が業務で使われていたことが判明しました。重大なコンプライアンス違反であります。30日開催の本会議では、議員発議でコンプライアンスの徹底と職場風土の改善についての動議が提出されました。提案説明、質疑、討論を行った結果、「全会一致で」決議が可決されました。決議書本文を掲載いたします。

市に法令遵守求める！



重ねてコンプライアンスの徹底と職場風土の改善を求める決議

令和元年の9月定例議会において「適正な事務執行とコンプライアンスの徹底を求める決議」を行い、全職員が一丸となって信頼回復を目指し、取り組んでいるところである。

しかし、その後においても議案の訂正や撤回が繰り返され、さらに理由の不透明な公文書の不開示、そして今回の公用車の車検切れ運行など続いている。これらの事案は、繰り返し指摘してきた意思決定過程の不明瞭さと法令遵守、職場風土の問題を露呈したものであり極めて遺憾である。

とりわけ、今回の公用車3台の車検切れ運行問題は、内部管理の不徹底であることは当然のことであるが、1台目の車検切れが明らかになった時点で、重大なコンプライアンス（法令違反）問題として認識し、対処していれば、それ以降の車検切れ運行は防げたものであり、こうした事態が繰り返されることは、極めて遺憾であると言わざるを得ない。

さらに重大なことは、車検切れ発覚後の対処において、市当局は、重大な法令違反と認識しながらも、「市民に直接影響を与えていない。施策の大きな遅延などなく内部管理の問題」として処理しようとしていたことは「隠ぺい体質」そのものであり、厳しく反省を求める。

また、公文書開示においても、「開かれた行政」という観点から明確な不開示理由がある場合を除いては開示していくという情報公開の制度趣旨の徹底を強く求めるものである。

本年9月には、「説明責任を果たす」という項目をつけ加え、「市政は市民からの信頼のもと成り立つことを常に意識し、市民の理解と納得を得るに足る説明責任を果たす必要がある。」この点を強調した市の『コンプライアンス基本方針』を改訂しているところであり、こうしたコンプライアンスの原点に今一度立ち返り、コンプライアンスの推進・徹底を図ることは勿論のこと、職場風土の改善・醸成に全力で取り組むことを重ねて強く求めるものである。

以上、決議する。

令和2年9月30日

丹波市議会

当初予算と実際に支出した額とに大きな差がある事業や、決算全体の不用額^{ただ}2が大きいことを質しました！！

4

バス路線再編に伴う利用増進施策について



問 路線バス乗車券購入助成金と路線バス通学定期券購入補助金の利用が少なかったのはなぜか？

答 事業実施段階で、すでに通学方法を決められていたことや、制度の周知不足が原因と考えます。

問 予算と実績にこれほどまでに大きな乖離が生じたのは、予算編成時にニーズの把握が十分にできていなかったのではないかと？

答 ニーズ把握と制度周知の努力が足りなかったと考えます。公共交通施策は重要であると認識していますので、ご意見を次年度以降の予算編成の参考とさせていただきます。

【審査意見】

路線バス乗車券購入助成金及び路線バス通学定期券購入補助金について、予算に対して執行率が著しく低く、制度設計において市民ニーズを的確に把握し、十分な検討がなされたのか疑問が残る。公共交通施策は市の重要施策の一つであり、配当された予算が市民に有効に活用されるよう事業を検証されたい。

5

多額の不用額が生じたことについて



問 令和元年度決算において、多額の不用額が生じている。これまでの決算審査においても不用額が多額であることを再々指摘してきた。限られた予算を有効に活用すべきである。

答 適正に年度内執行できるように努めてまいります。事業内容の変更が生じた場合などは、所管の常任委員会に報告いたします。

【審査意見】

ここ数年、多額の不用額が生じている。このことは当初計画した事業が予定通り進捗しなかったことを意味するものであり、市民の要望に応えるためにも、年度の途中でこうした実態を把握し補正予算を編成するなど、限られた財源を有効に活用されたい。また、工事に関しては、入札後すみやかに工事費を把握するなど不用額縮小へ向けた有効な対応を図るとともに令和元年度は災害復旧費の繰越事業において多額の不用額が生じていることから、所管の常任委員会への報告など十分な対応が必要である。



不用額…歳出予算の執行の結果として使用する必要のなくなった額。不用額が生ずる理由としては、事業規模の縮小や中止、積算根拠の状況変化によるもの等がある。



民生産建常任委員会では、市の基幹産業である農業について、これまで所管事務調査を進めてきました。農業振興について、担当部からの聞き取りや農業委員会との懇談を通じて調査を行いました。その調査結果を委員会の場で市執行部に報告いたしました。

委員会での報告事項

丹波市においては、農業者の高齢化や担い手の減少等、農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。

本委員会では、令和2年3月から令和2年8月までの6ヵ月にわたり農業振興に関する事項について、所管事務調査を行ってきた。

市は、「丹波市農業・農村振興基本計画」を指針として、魅力ある農村社会の構築と攻めの農業展開を進めてきたが、環境循環型農業の推進、獣害対策・丹波市ブランド化の推進等の施策の展開が進んでいないと感じる、また、協議の過程の透明化が必要であるなどの意見が出た。

「丹波市農業・農村振興基本計画」は平成28年から10年の計画であり、次年度には見直される予定であることから、見直しに当たっては次の点を検討していただきたい。

(1) 農村・農業振興基本計画の基本理念では「丹波市ブランドを活かした元気な農業・農村づくり」を掲げその実現に向けて7つの課題テーマを設けている。

その中でも、環境創造型農業の推進では市島有機センターの施設のあり方や剪定枝の堆肥化の検討等有機農業の普及への基盤作り、獣害対策では有害鳥獣対策協議会の機能強化や鳥獣防止柵設置補助の拡充の検討等を具体的に進めるために、基本計画に「農業戦略室の設置」を追記することが必要である。

7つの課題テーマを達成し、丹波市の農業を基幹産業として発展させるために「農業戦略室の設置」を検討されたい。

(2) 丹波市の農業・農村振興のために関係機関が結集し、一体的な指導性を発揮することを目的として丹波市農業農村振興協議会を設置されている。しかしながら、数年にわたり会議は開催されておらず、その機能が発揮されていない。

協議会が定期的開催され、関係者間で情報共有、意見交換が行われることで農業者や農業者団体、農業関係機関と連携を図りながら戦略的に各種施策を展開できるものとする。

そのためには「丹波市農業農村振興協議会設置要綱」の見直しを検討されたい。



今年1月に開催した農業委員会との懇談の様子

農業振興に関する事項について

所管委員会で調査を実施

■議案の審議結果

全員賛成で可決した議案

9月定例会

議案	
令和元年度決算の認定	国民健康保険特別会計直診勘定
	介護保険特別会計サービス事業勘定
	訪問看護ステーション特別会計
	地方卸売市場特別会計
	駐車場特別会計
	看護専門学校特別会計
	農業共済特別会計
令和2年度補正予算	水道事業会計
	下水道事業会計
	一般会計予算（第7号）
	国民健康保険特別会計事業勘定
	国民健康保険特別会計直診勘定
	介護保険特別会計保険事業勘定
	後期高齢者医療特別会計
	訪問看護ステーション特別会計
	看護専門学校特別会計
	地方卸売市場特別会計
条例改正	駐車場特別会計
	水道事業会計
	下水道事業会計
税条例	税条例
	学校等整備基金条例

9月定例会

議案	
人事案件	人権擁護委員の候補者の推薦（12名：任期3年）
契約の締結	中型ノンステップバス車両購入
規約の規約の変更	丹波市・一部事務組合公平委員会設置
その他	字の区域変更及び字の廃止
	市道路線の認定（北太田青田線）
	市道路線の変更（谷川青田線）
	市道路線の廃止（青田東西線）
意見書	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
	事務検査に関する決議
決議	重ねてコンプライアンスの徹底と職場風土の改善を求める決議※5ページに掲載

7月臨時会

議案	
契約の締結	小中学校タブレットパソコン購入
締結	小川小学校東校舎大規模改造工事請負
予算	一般会計補正予算（第6号）

賛否が分かれた議案と審議結果

議案		結果	賛成	反対	小川庄策	渡辺秀幸	太西ひろ美	近藤憲生	山名隆衛	大嶋恵子	吉積毅	広田まゆみ	小橋昭彦	谷水雄一	垣内廣明	太田一誠	太田喜一郎	藤原悟	須原弥生	西脇秀隆	西本嘉宏	奥村正行	前川豊市	林時彦
令和元年度決算の認定	一般会計	認定	16	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退	○	○	●	●	○	○	
	国民健康保険特別会計事業勘定	認定	16	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	●	●	○	○	-
	介護保険特別会計保険事業勘定	認定	16	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	●	●	○	○	-
	後期高齢者医療特別会計	認定	16	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	●	●	○	○	-
条例改正	手数料条例	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	-
契約の締結	交通系ＩＣカードＩＣＯＣＡ購入※７ページに掲載	原案可決	17	0	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	-
請願	農民の権利の法制化と種苗法の改正に関する請願	採択	15	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●	●	○	○	○	○	-
意見書	農民の権利の立法化と種苗法一部改正に関する意見書	可決	15	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●	●	○	○	○	-
撤回 (7月臨時会)	一般会計補正予算（第6号）	承認	18	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-

※○は賛成、●は反対、退は退席、■は賛成・反対討論を行った議員。委員会と賛否が異なる場合は、委員会採決も掲載しています。
※太田喜一郎議員は、議会選出の監査委員。

議案の審議結果





調査の概要

① 広報活動について〔議会広報紙の編集に関すること〕

広報広聴委員会では、次の4点の工程を原則として編集作業を行った。①初回の委員会で、表紙・特集ページ等の企画案の協議、編集スケジュールの確認、レイアウト案の確認・協議・役割分担を行う。②2回目と3回目の委員会で、各コーナーにおける掲載項目の選定、原稿の読み合わせを行う。③閉会後に行う4回目の委員会で最終校正を行い、定例会終了後の翌月発行に間に合うよう印刷業務を業者委託する。④刷り上がった広報紙を市内に全戸配布し、更に多くの人に読んでもらえるよう、コンビニ、市内公共施設、高校、商工会等にも配布する。

また、編集方針として当委員会で重視したのは次の3点である。①ターゲットを30代から40代までの子育て世代の女性に絞ること。②5分で読破できる議会だよりを目指すこと。③常に読者目線を忘れないこと。議会広報紙は、一般的に内容も難しく堅苦しいイメージがある。市議会として市民に対してお知らせするという義務的な要素は当然であるが、まずは、手に取って読んでもらうことを重視し、この3点を編集方針の柱とした。

② 広聴活動について〔市民との意見交換会の企画立案に関すること〕

市民の意見交換会に対する敷居をいかに低くし、だれもが参加しやすい雰囲気づくりを目指すかについて、重点的に見直しを行った。平成30年度、「議会報告会」から「市民との意見交換会」に名称を変更したことから、議会からの報告よりも議員が市民の生の声を聞く場としての趣旨に重きを置くため、時間配分を見直した。また、子育て世代や若い世代の参加を促すため、PTAやこども園、女性団体等にも案内文書を送付するとともに、テーマを「子育て」に特化したグループをつくり「出入り自由」とするなど、形式的な部分を改善した。お子様連れの参加者を想定したなかで、各会場とも和室を準備するなど工夫も行ったことにより令和元年度開催では、女性参加者が前年度対比約1.5倍となった。

今後の課題

① 広報活動について

◎一般質問の原稿の作成と差し込み画像の提出を質問議員自身がその責任において行っている。市民から異論の出る写真や、著作権の問題が生じる画像が掲載されないように編集方針を基として原稿作成にあたるよう更に注意喚起すべきである。

◎読者モニター会議²²は議会広報紙に対する若い世代の声を取り入れるため開催してきた。過去3年間で市内3高校での開催が一回り終了したが、高校生を対象とした継続的な実施は必要であると考えている。

② 広聴活動について〔市民との意見交換会の企画立案に関すること〕

◎子育て世代に限らず女性や若い世代の方に参加していただくための方策として、「子育てテーマ」にプラスした若者や女性が興味を持つ特化したテーマの検討と、開催PR及び案内文書の配布先等についても検討すべきである。

③ コロナ禍での対応について

◎コロナウイルスの収束が見えてこないなか、3密を防ぐなど感染拡大防止対策を考慮した取材活動や市民との意見交換会・読モ会議の開催検討が必要である。

²² 読者モニター会議（読モ会議）：議会だよりの紙面について、ご意見を伺うための会議。

ココが聞きたい！一般質問

今回は
18人の議員が
一般質問を行いました！

一般質問は、議員個人が自分なりの問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。自由なテーマで疑義を質（ただ）します。

テーマは自由

質問する内容は、議案とは関係なく議員が自由に決め、「通告書」に書いて締切日までに提出します。

制限時間は60分

一人あたりの制限時間は、市からの答弁も含め60分です。

ホームページに質問項目を掲載

質問項目は、事前にホームページに掲載。また、傍聴者には、質問要旨をお渡ししています。



一般質問の様子（ライブ中継・録画映像）は市議会ホームページからみることができます。〔検索ワード〕丹波市議会インターネット中継

アフタースクール施設環境改善を

答 過ぎしやすい環境を実現すべく、改善すべき所は、随時対応

問 吉見アフタースクールのトイレ改修、美和アフタースクールの倉庫等の環境改善、竹田アフタースクールの危険箇所の改善を求める。

答 施設の老朽化や市有でない施設を使用しているなど、子どもたちを預かる環境は一律とは言えません。指摘の箇所につきましては、吉見アフタースクールについては、今回の補正予算が可決し



吉見アフタースクールのカーテンで隠すトイレ

問 現在の市島支所の場所の複合機能拠点の建設を検討すべきだ。

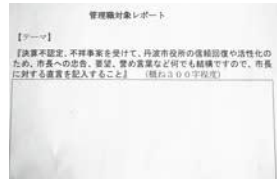
答 支所の行政機能と住民センターのコミュニティ支援、防災面を統合した一体的機能の発揮と既存の商業施設や金融機関といった生活便利機能が同じゾーン内にあることが望ましいと考えています。

管理職から市長への要望の開示を

答 命にかけても出せない、棺桶^{かんおけ}まで持つていく。

問 管理職が市長に対して思っている事のレポートの資料請求が不開示となったと聞く。氏名、役職を黒塗りにしてでも出すべきだ。

答 内容は、業務量が増えた、あれもこれも手をつけすぎ、本音を言えないなどでした。他には出さない本音で書いてほしいと言って96人の提出です。命にかけても出せない、棺桶^{かんおけ}まで持つていきます。



管理職対象レポート用紙

問 旧遠阪小の無償貸付の提案説明は何だったのか、話が違ったのか。

答 全く疑問を持たなかったわけではない。一抹の不安があった。将来面倒になりそうでも決裁しました。

問 シティプロモーションなどの市政運営をどう思っているのか。

答 三顧の礼で迎えた担当の余田元理事は実にユニークな発想の持ち主で、市の魅力を掘り起こし情報発信PRに貢献してくれました。

問 4年間の自己評価70点はあまい。辻前市長と同じ点数をつけました。



やまな たかひろ
山名 隆衛 議員



おくむら まさゆき
奥村 正行 議員



市内中学校の机、椅子を地元材で

答 学習スタイルの変化により、軽量で移動容易な物の需要が高いです。

問 生徒に木のぬくもりを伝え、関連産業活性化の為、地元産材の机、椅子を導入しては。

には内装材に、地元産材等を使用する計画です。

市内主要幹線道路の除草作業について

答 市島中学校については、導入から12年を経過した平成25年に、学校とも十分協議を行った結果、スチール製の机・椅子の導入を行いました。尚、木の温もりが教育的効果に好影響が期待されますので、既存校舎の改修や、山南統合中学校

問 夏場の作業は大変です。効率を上げる為、さしさわりの無い所は、集草せず。又、除草剤の使用も考えてはどうか。

答 現地の状況にもよりますが、水路に詰まったり、スリップ事故も考えられます。除草剤を使うと、法面崩壊や浸食が懸念されますので、基本的には従来からの方法で実施してまいりますのでご理解下さい。



地元材での机、椅子

おでかけサポート事業の見直し再考を

答 一乗車500円を300円に見直し、検証することを検討しています。

問 おでかけサポート事業を見直し、令和3年4月から自己負担を一乗車500円とし、地域をこえる加算や使用回数制限を設けるが、再考が必要ではないか。

答 利用者負担については、令和5年までは300円とし、その間に検証したいと考えます。通院以外で地域をこえる加算は応益的な考えからであり、また、回数制限も妥当と考えます。

タクシー券配布は廃止ありきではなく慎重に

問 おでかけサポート事業見直しに伴い、タクシー券配布が令和



土日も運行になるおでかけサポート



子育て環境の充実を

答 公園、図書館、小中学校など基本となる計画を含めて取り組みます。

問 子育て支援策としての公園整備計画は進んでいるか。

答 予算決算常任委員会でご指摘いただいて以降、8月にはアンケート調査で多くのご意見を頂戴し、所管委員会でお示しする方向で進めています。

問 図書館統合の思いを報道で表明されていたが、子育て環境としては後退する。

答 公共施設縮減の必要性を訴える思いで表明しましたが、子育てに果たす役割は確かに重要で、慎重に見極めることにします。

問 小規模校が大半という現状に即して



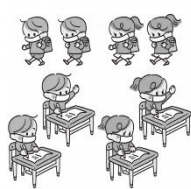
小規模ながらも地域の魅力と共にある学校

コロナ禍のもと少人数学級実現を

答 感染予防に努め、可能な学校では分割授業などに努めます。

問 市内小中学校では30人以上の学級が、小学校で21クラス、中学校で34クラスあります。教室内での3密を避けるのが困難です。分割授業などを実施していく必要がありますがどうですか。

答 常に換気を行い、児童生徒間の距離を1m以上とることに努めています。分割授業は可能な学校では実施します。また、いろんな所で



コロナ禍の少人数授業



ウィズコロナへの対応、取り組みは

答 地方創生臨時交付金や感染症対策基金を活用し体系的に取組みます。

問 コロナ禍において、地方回帰の流れが進むことも考えられる。空き家の情報収集等、移住にかかる全体的な取組みを。

答 移住希望者のニーズにあった物件が非常に少なく、良質な物件の掘り起こしが必要で。今後、更に自治会をはじめ地域の方々との情報共有を図り、連携を強化するなど、移住者の受け入れサポートができる体制づくりに努めます。

認定こども園のICT化への支援を

問 認定こども園における業務負担軽減を図るためICTを活用した保育システム導入への支援を。



保育システムの活用で、事務負担軽減を

現状に合った国土強靱化計画を

問 丹波市国土強靱化計画では現状の事業推進の為の計画であり、市の現状に合った強靱化計画に見直すべきではないか。

答 市全体の強靱化に向けた具体的な取組を盛り込み、その取組を円滑かつ着実に推進する為、適時計画の修正及び改訂を行っていきます。

問 市民には平等に市の恩恵を受ける権利があるが、市民の生活道路でもある河川管理道の舗装を行うのに、どのような問題があるのか。

答 法定外公共物整備事業補助金制度に準じ財政支援が妥当か



荒れた河床



かきうち 垣内 廣明 議員



すはら 須原 弥生 議員



にしわき 西脇 秀隆 議員



かきうち 垣内 廣明 議員



庁舎統合整備はどう進めるのか
答 専門の検討組織を設置。庁舎の機能や整備内容についてまとめていく。

問 まちづくりビジョンでは行政ゾーンを柏原の中心市街地から丹波警察署までの周辺と定めている。市民から庁舎はそこに決まっているのかとの声を聞くがどうか。
答 行政ゾーン内に決まったものでありません。将来を見据えた統合庁舎の機能やこれからの庁舎が担うべきまちづくりの拠点と



現在の丹波市役所本庁舎

しての役割などを市民の皆様と共有し、それらの機能や役割が十分に発揮される場所を絞り込みます。
慢性的な人員不足は
問 近年度重なる災害対応に加え住民福祉の向上を目指した施策も増え仕事量が増大し慢性的な人員不足が生じている。「業務の量」「業務の質」の両面から課題を整理し人員配置の適正化及び人材の有効活用を図ってはどうか。
答 各部署も人手不足は感じています。課題を整理するため外部委託も含め行革の視点で検討します。



丹波三宝に次ぐ特産物の考え方は
答 スイートコーン・ブルーベリーなど特産物の生産拡大を支援します。

問 現在、市内で生産者組織が既存し栽培されている特産物の更なる振興施策をどのように考えているのか。
答 生産量拡大においては、特産物生産組合等支援事業により、指定作物への機械購入費の支援により、秋季の特産物に加え、スイートコーン・ブルーベリー・若松などの生産拡大への支援を、また



鳥獣害対策のためネットを張ったスイートコーンの圃場

産地PRとして、特産振興作物ブランド化推進事業により効果的な情報発信等を行う経費に対する支援を継続して行つてまいります。
問 一毛作による特産物の振興施策をどのように考えているのか。
答 一毛作のメリットとして、農家所得の向上並びに農家のリスク分散などがあることから、丹波農業改良普及センター並びにJA丹波ひかみと連携しつつ、収益性が高く丹波市の風土にあつた特産物の振興施策を研究してまいります。



コロナ後の地域共生社会は
答 プラットフォーム機能強化を小学校区で重層的に取り組みます。

地域共生の新たな可能性
問 人口減少・多様化社会におけるプラットフォーム施策は。
答 施策、機関・主体が相互に連携し総合的に取り組む施策と理解しています。
問 介護・障がい・子ども・生活困窮等の窓口機能は。
答 自立支援課福祉総合相談係を新設し、「福祉まるごと相談」の包括的支援体制を整備します。

問 丹波地域の農業農村整備事業施策
答 国道175号は、地元組織が丹波市全市体制になり、国道429号榎峠バイパスは令和2年度着手決定し、総額43億円、令和8年度完成予定です。今後は、朝来市との連携を検討します。

入所保留状態が生む経済損失は

答 市にとって大きな損失。しっかりと預けられ、働ける環境整備は重要。

問 企業誘致は働く場所確保に有効な手段の一つだが、どのような体制か。
答 情報収集に努め、ピンポイントで行っています。一方で、誘致先の土地の確保等条件整備を行う必要があります。

問 入所保留が自主退職や解雇を生む経済損失の実態は。
答 市にとって、大きな課題と認識しています。預けられる園を整備し、女性が十分に労働能力を発揮できる環境づくりは重要だと思つています。

問 保育士資格を有する市職員の臨時的
答 入所保留がないまちに



入所保留のないまちに

有効活用と継続的募集の併用は。
答 職員を派遣することとは考えていません。
問 入所保留状態解消も、人口減少対策の一つとして、直ぐに手を打つべきでは。
答 子育て支援施策はこれまで他市に負けずたくさんありますが、目玉はありませんでした。今後は、新たに子育て支援公園の創設や病児保育施策の充実に力を入れていきます。

問 市道中央293号線道路改修工事に伴う安全対策はできていますか。園児・児童・生徒が安全に安心して活用できる道路でなくてはなりません。何かが起こってからでは遅いのです。しっかりとした対策が求められますが、市としては、どのようにお考えですか。
答 利用者が安心して安全に通行できる対策は必要であると考



安全が心配される市道中央293号線と特19号線の交差点

市道293号線の安全対策は十分か

答 市の道路事業としては、車両用防護柵を設置します。

問 市道中央293号線道路改修工事に伴う安全対策はできていますか。園児・児童・生徒が安全に安心して活用できる道路でなくてはなりません。何かが起こってからでは遅いのです。しっかりとした対策が求められますが、市としては、どのようにお考えですか。
答 利用者が安心して安全に通行できる対策は必要であると考

問 丹波地域でも噂話
答 は絶えず、私にも医療従事者の方から自分や家族への不安が寄せられています。シトラスリボンプロジェクト等、推進すべきではありませんか。
答 8月に作成した啓発パンフレットにより、自治会、学校等に啓発してまいります。

問 エssenシャルワーカーへの敬意と感謝を表し、コロナ差別を起さないまちに。
答 丹波地域でも噂話は絶えず、私にも医療従事者の方から自分や家族への不安が寄せられています。シトラスリボンプロジェクト等、推進すべきではありませんか。
答 8月に作成した啓発パンフレットにより、自治会、学校等に啓発してまいります。



おおにし み 大西ひろ美 議員

シトラスリボンプロジェクト：シトラス色のリボンや専用のロゴを身に着けて「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動

本庁舎恒久的利用の為の整備か

答 今後も本庁舎保全計画に基づき市民の安全と利便性を保つよう整備していきます。

問 本庁舎の「市民に優しい整備」が必要ではないか。またデジタル化（テレビ会議など）の推進で分庁舎方式の試算口スも再度考え直すべきではないか。
答 喫緊の安全対策として各階段のすべり止め塗装を検討いたします。分庁舎口スの試算も3年ほど前の試算となり状況も変わっています。市民のみなさんに理解してもら



契約金額約1,500万円の駐車場屋根設置工事

問 サイクリングロードの充実
答 県と連携したサイクリングロードの整備を進めるべきだ、現在の状況は。
答 「兵庫丹波チャレンジ200」のコースが設定されました。このモデルルート completes 「地域ルート」の協議を始めています。周辺の観光資源が楽しめる、周遊性を高めた設定を考えています。関係団体と連携しサイクリングロードを展開します。実現可能性・継続性が高い提案には支援も必要と考えております。



よしづみ つよし 吉積 毅 議員



たにみず ゆういち 谷水 雄一 議員



丹波市内の地域を越える基幹交通である路線バス風景

答

公共交通全体の連携した利用体系を崩すことになりかねない。

問

丹波市内の公共交通充実に向け、1乗車300円を検討してみているのか。

答

丹波医療センター開院時に路線バスの路線及び便数の拡充にあわせて、定額運賃や段階的な上限運賃について社会実験ができないか、路線バス事業者とも協議を行いましたが、期間を限定した廉価な運賃による社会実験は認可のハードルが非常に高く、あきらめた経緯があります。

問

柏原駅の利用増に向け柏原駅周辺の駐車場不足への対応は、早急に解決できる課題ではないため、関係部局において解決策の検討を進めてまいります。

答

関係部局において解決策の検討を進めてまいります。

農民の権利の法制化と種苗法の改正に関する請願

請願者：種からはじまる農と食を考える丹波ネットワーク代表 婦木克則 ほか9人

紹介議員：小橋昭彦議員、西本嘉宏議員

議会から国に意見書を提出

提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣



意見書



委員会審査の様子

【意見書の要旨】

種苗法は、植物の新品種を開発・登録した人の「育成者権」を守る国内法です。一方、種を自家採取し工夫することで農業の発展に資する「農民の権利」を守る国内法はまだ整備されていません。国においては、農民の権利を謳う法整備を進め、食の安全・安心を願う国民全体が納得できるバランスの良い法体系を築けるよう慎重に議論を尽くして頂きたい。

新議長に前川豊市議員が就任いたしました！！



林時彦前議長の辞任に伴い、9月定例会の最終日に新たな議長を決める議長選挙が行われました。

選挙の結果、丹波市議会第9代議長に前川豊市議員が就任いたしました。



デマンド・タクシーの改善を図れ

答

木曜日運行の実施と乗り継ぎの待合環境の改善を図ります。

問

デマンド・タクシー等公共交通システムのあり方検証（案）によると、木曜日運行と丹波医療センター等中心部への「直行便」の要望が強いと指摘している。こうした課題を早急に改善すべきである。

答

木曜日の運行について、検証結果も踏まえ、来年度以降の実施に向け検討します。中心部への直行便は、理解はするものの慎重な対応が必要です。



改善が待たれるデマンド・タクシー

問

乗り継ぎポイントの設置・改善についてどうするのか。

答

雨風をしのぐことが可能な乗り継ぎポイントの設置等、待合環境改善を検討します。

市営住宅の建替えと高い家賃の引下げを

問

次期計画で園部団地を候補地とする「建替え」計画に言及しているが、どう考えているのか。

答

次期計画で、集約建替えの必要性について検討します。

問

50%を超える空き室率の「特公賃」住宅の家賃引下げを検討すべきである。

答

来年度に向けて改訂する予定です。

答

様々な課題を解決するための見直しです。ご理解頂けるよう努めます。

外出弱者サービス見直しは必要か

問

「おでかけサポート」高齢者外出支援事業」の今回の見直しは市民の理解は得られないのではないかと。

答

おでかけサポートは、利用者の偏りがある事や運転員の確保、安定安全運行、土日祝日に運行がないといった課題を解決するための見直しです。1乗車は300円にすることを検討しています。高齢者外出支援事業の見直しは、公共交通を維持していくために必要な改革だと考えています。

問

「かいばら一番館」の今後は、協議会での提案を尊重した形で、地

答

協議会での提案を尊重した形で、地



かいばら一番館

問

妊婦の丹波医療センターの選定療養費助成を早急に。

答

妊婦健康診査費の助成は、母子手帳発行後からです。妊娠が確定するまでの自己負担分の助成を望まれる声があることを踏まえて、令和3年度の開始を目指し検討します。

答

市全体の施設配置計画と住民の意見を反映して具体化していきたい。

山南中央公園移転整備内容は

問

地域住民、現山南中央公園の利用者の意見を聞くには、検討委員会等組織が必要ではないか。

答

現時点で、検討委員会等の設置は考えていませんが、市民の声は大切であり、ご意見を伺う機会を設けながら、また、地元でも独自に検討いただくことも考えられており、こうしたご意見も伺いながら取り組んでまいります。

問

今後の段階でのスケジュールは、令和3年度に機能移転の基本計画を策定し、令和6年度の開園を目指す。

答

令和3年度に機能移転の基本計画を策定し、令和6年度の開園を目指す。



山南中央公園



おおしま けいこ 大嶋 恵子 議員

県外の強豪校との
交流試合に補助し
てほしい！！

議員さんと交流で
きる機会を増やし
て、将来の丹波市
を良くしていきたい！！

下校時の最終バス
の本数を増やして
ほしい！！



丹波市のココ に期待しています！

和太鼓に取組む波娑羅のみなさん

若者が楽しめる場
所や機会を増やし
てほしい！！
ライブとか

丹波竜PR活動に
補助金を！！



自然を生かした
まちづくりを！！

※写真撮影のため屋外でマスクを外しています。

※個人のコメントであり、団体を代表するものではありません。

発行：兵庫県丹波市議会
編集：広報広聴委員会
〒669-3692 兵庫県丹波市
氷上町成松字甲賀1番地
TEL 0795-82-1472
FAX 0795-82-1523
E-mail: gikai@city.tamba.lg.jp

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	「広報広聴委員会」	議長	「発行責任者」
藤原 悟	谷水 雄一	広田まゆみ	吉積 毅	大嶋 恵子	大西ひろ美	近藤 憲生		前川 豊市	

あとがき
本年11月の市議会議員改選に伴い、現在の広報広聴委員会のメンバーでの発刊が最終号となりました。この2年間に多くの個人や団体の方に取材協力を頂きながら1回の臨時号と8回の定例号を発刊してまいりましたが、いかがでしたか？今後とも多くの方々に手にとって頂ける議会広報紙となるよう、更に進化を続けてまいります。